都議会NEWS

東京都議会議員(江東区

発行:地域政党 自由を守る会 〒163-8001 東京都 新宿区 西新宿 2 丁目 8 番 1 号 TEL:080-8851-3070 MAIL:info@sannohe-aya.com

プロフィール:平成元年東京都生まれ。江戸川区立清新第三小学校、江戸川区立清新第一中学校(転出)、International School Bangkok、上智大学社会福祉学科卒業。 総合商社勤務を経て、2019年江東区議会議員初当選。2023年江東区議会議員選挙2期目再選。2024年7月に執行された東京都議会議員補欠選挙にて初当選。厚生委員会所属。

噴水"は誰のため?ODAIBA®問題を斬る!





X(I⊟Twitter) 公式サイト

2024 年 9 月、小池都知事は議会に諮る前の段階で「お台場に世界最大級の噴水を次年度に作る」と記者会見で発表しました。その 2 ヶ月後の 11 月上旬、東京都は初めて ODAIBA ファウ ンテン (仮称)に係る総事業費はおよそ26億4000万円、維持管理には年間最大2億円を見込んでいることを明らかにしました。しかしながら本事業に関しては数々の疑念があり、私は情 報開示請求や質疑などの手法を駆使し情報公開に努めたところ新聞各社でも取り上げられるなど大きな反響がありました。独自調査と質疑により明らかになった論点は以下の通りです。

論点① 誰が噴水を要望したのか?

「なぜお台場に噴水を建設することになったのか?」という質疑に対し、東京都は本会議の答 弁において「多くの事業者等から賑わい創出を図る取組について要望を出された」と説明して います。そこで、2024年11月7日に「お台場海浜公園の噴水について東京都に寄せられた事業や 団体からの要望の内容、要望を受けた日付、要望者が分かる文書の全て」を東京都に対し開 示請求を行ったところ、延長の末に開示された文書は一般社団法人東京臨海副都心まちづくり 協議会 (理事長・株式会社フジテレビジョン取締役日枝久氏)による「令和7年度東京都予算 に係る要望」で、さらに不可解な事に、この文書はODAIBAファウンテン建設が公表された後の

2024年10月28日に発出されたものでした。 つまり、 東京都が噴 水の計画を発表する以前に「噴水を作って欲しい」という要望は 存在しなかったのです。調査すればするほど、本事業の決定プロ セスの不明瞭さが浮き彫りになっています。



論点③ 水質問題と周辺環境への影響

東京湾には東京や他県の河川から合流した下水道からの汚濁物質が流入しています。世界一の 規模で噴き上げる噴水には、この汚染された海水が使われる計画であったため、その安全性を 懸念し、東京都に対し独自で文書質問をしました。その結果、令和 5 年度の水質測定結果で は 5 月と 8 月に最小値と比較しておよそ 1,067 倍~9,000 倍ものふん便性大腸菌が発生してい る事が判明。大腸菌を含んだ水は噴水の水源として不適切である事を指摘したところ、東京都 は突如として、噴水には部分的に上水(水道水)を使うと方針を変えました。大腸菌や塩害の リスクは未解決のまま、大半の噴水には海水を使い、一方で、貴重な水道水を 1 日に 10 回に わたり、150m の高さまで噴き上げるというのです。一昨年、水不足により小池都知事自らが都 民に節水を呼びかける事態になったことも記憶に新しく、現在も東京都の水道局は常時節水を 呼びかけている状況下において、同じ自治体が進める事業とは思えない内容です。

論点② 税金を使わないのは本当か?

都庁舎プロジェクションマッピングでも指摘された「税金の無駄遣い」という批判から逃れる ためか、東京都は「お台場噴水に係る整備費及び維持管理費には税金を一切使わない」と説 明しています。その代わりに、噴水整備管理維持の財源として、都有地の売却等による収入を 財源とする特別会計である「臨海地域開発事業会計」を活用するとしています。しかしながら、 都有地は都民共通の財産であることや、本事業を担当する港湾局の人件費は税金から支払われ ていることを鑑みると、税金は使わないという説明には、都民を惑わそうとする意図を感じます。

論点4 お手盛り予算とずさんな計画

東京都は、噴水がもたらす経済波及効果として毎年98億円、噴水の観覧者は年間3,000万人を見込ん でいると明らかにしました。日本人や観光客が絶え間なく訪れる東京ディズニーリゾートでさえ、令和5年 度入園者数は2,750万人です。東京都の試算は見込みが甘すぎるのではないか?と指摘し、

その算出根拠を質疑しました。詳しくは本誌裏面の一般質問と回答をご覧下さい。 東京都によるお台場噴水 (ODAIBA ファウンテン) 設置計画の撤回につきましては、 私の HP でも情報を発信し声を広げる活動をしていますので、ぜひご覧ください ➡



電動キックボード及びモペットの在り方を考える 超党派議員連盟を立ち上げました



2023年7月に改正道路交通法が施行されて以降、電動キックボードが第一当事者となる事故件数が都内で増加傾向に あり、江東区民の皆さまからも多くの相談を受けています。また、モペットと呼ばれるペダル付きの原動機付き自転車 による交通違反が相次いでいる事態も鑑み、電動キックボードやモペットによる事故から都民を守ることを目的とした 超党派議連を立ち上げ、記者会見を行いました。

事故が多い新宿区、世田谷区、中央区、目黒区、文京区、台東区の地方議員が超党派で所属しており、議連として、 都民を事故から守る為に主に下記の取り組みを実施しています。

- 絡む事故の件数を定期的に自治体毎に共有する
- 各地方議会において事故への対策等を協議する
- 各自治体における対応について情報共有を議連内で行う 国に対し事故件数の報告を義務付ける様に求める
- 都内で発生している電動キックボード及びモペットが 都民に対して事故の発生状況と、それに対する自治 体毎の取り組みを周知する
 - レンタル事業者に対し事故件数の公表を求める

議連の最新情報や「こんな事故を見た」「こんな違法車 両を見つけた」などの情報共有、お問い合わせにつきま しては「電動キックボード及びモペットの在り方を考える 超党派議員連盟」公式ホームページからご確認下さい ➡





2024年12月18日、本会議最終日にて都議就任後初となる討論を行いました。討論は 定例会毎に行われるもので、議案に対する議決が取られる前に各会派が「反対・賛成」 それぞれの立場からの意見を表明し論じます。私は地域政党自由を守る会を代表し、 小池都知事の繰り返される答弁拒否や、無駄な事業に対する懸念点、特に都庁舎 プロジェクションマッピング事業の経済効果に疑問を呈しました。また、小池都知事 が発表した都職員の週休 3 日制については、一日あたりの勤務時間が長くなり結果と して職員の負担が増してしまう労働圧縮型の特性を持っているため、それよりも、 都知事の公約である残業ゼロの達成を果たすための業務整理・効率化に取り組む べきと指摘しました。

10 分間の討論内容が字墓付き動 画でご覧頂けますので、是非ご覧 ください→





2024年11月以降 4ヶ月間の活動内容(抜粋)

2024年11月~

- 豊洲市場まつりのオープニングセレモニーに出席
- ・ 更生保護施設 ステップ押上の内覧に参加し バリアフリー対応について確認
- 都内における電動キックボードの事故件数が 増加傾向にある旨を周知啓発
- ・ 都立深川高等学校の創立百周年記念式典に出席
- 東京都心身障害者医療費負担軽減を求める 第二回シンポジウムに参加
- ・東京2025デフリンピック開催1年前イベントに参加
- ・第39回豊洲プロギング開催 (2.2キロのゴミを回収)
- 厚生委員会にて事務事業質疑を実施
- ・江東区立南陽小学校50周年式典に参加

2024年12月~

- ・東京都保育問題協議会との面談
- ・第40回豊洲プロギングを開催(2.98キロのゴミを回収)
- ・最終本会議において討論を実施
- ・東京都に対し来年度予算編成に関する提言を実施

2025年1月~

- ・令和7年東京消防出初式に参列
- 江東区産業会館にて都政報告会を実施
- ・電動キックボード・モペット問題に取り組む超党派議連立 上げ記者会見を実施
- 海上からODAIBAファウンテン建設予定地を視察

2025年2月~

- ・緩和ケア病棟を新設されたあそか病院に視察
- ・包括外部監査コンベンションに参加
- ・第41回豊洲プロギングを開催 (2.5キロのゴミを回収)
- 本会議臨時会に出席
- ・ 令和7年第一回定例会にて一般質問を実施

都議就任以降 You Tube 67 活動報告動画を 配信中です! 是非ご覧ください⇒





東京都議会議員(江東区選出)さんのへあや 一般質問(2度目)実施のご報告



2025年2月に開会された都議会第一回定例会において、都議会議員に就任して以降2回目となる本会議一般質問の機会をいただき実施し てまいりました。都議補選で誕生した新人都議は私を含め9名おりますが、都議就任以降、一般質問に2回も登壇したのは私のみです。今回 も多くの江東区民・都民の皆様から関心をお寄せ頂いた事項について触れております。この度の一般質問における質問内容と、これに対す る東京都からの答弁を紹介致します。



さんのへ

(港湾)…港湾局長 (福祉)…福祉局長 (保医)…保健医療局長 (生文)…生活文化スポーツ局生活安全担当局長 (建設)…建設局長

さんのへ

全文は こちらへ ⇒



お台場噴水事業について

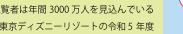
都としてどのような事業者から噴水設置の要望を受けた のか情報開示請求を行なったところ、臨海副都心まちづ くり協議会の予算要望書のみ、しかも要望書は噴水事業 の構想が出た後に作成されており、これを以て噴水事業 を実施する根拠としているのは時系列から見て論理破綻 しています。

臨海副都心まちづくり協議会からのお台場地域におけ るにぎわい創出の要望を受け、どのような検証を元に、 なぜ噴水の建設に至ったのか。都の見解と、都民にわ かりやすく伝わるよう都知事の答弁を求めます。



コロナ禍以降、来訪者数の減少等で地域の活力が低下 し、地元の事業者や水域利用者からにぎわいを求める声 があり、来訪者からは楽しめる施設を増やしてほしいな どの声も寄せられております。このため、都は、臨海副 都心のプレゼンス向上とさらなる発展に向けた取り組み の一環として、新たなランドマークとなる噴水を整備す ることといたしました。

都が試算する経済波及効果98億円の算出根拠です。 都として噴水の観覧者は年間 3000 万人を見込んでいる とのことですが、東京ディズニーリゾートの令和5年度 入園者数は2750万人です。見込みが甘すぎると思います。 噴水の有無に関わらず訪れる人が多分に含まれていると 推察しますが、都が試算する経済効果の算出根拠は、誰



が、何を基準に計算したものか改めて確認します。



噴水の整備による経済波及効果につきましては、専門 的な見地から客観的に算出するため、外部委託を実施 いたしました。具体的には、台場地区への新規来訪者 の消費額と、帰来訪者の滞在時間増による消費額をも とに算出したものでございます。

お台場海浜公園水域内における水質測定では常に大腸 菌が検出されており、東京や他県の下水道から汚濁負 荷が流入している海水を噴き上げるべきではありませ ん。この点を指摘したところ、都は先日の答弁では部 分的に上水を使うと、突如方向転換されました。一昨年 には水不足で都知事自らが節水を呼びかける事態となり ました。貴重な上水をレインボーブリッジの地上高 126mよりもはるかに高い150mもの高さまで噴き上げる ことに都民は納得するでしょうか。都の工業用水道事業 は廃止され都内町工場は高い水道料金を負担しています。 こうした背景を踏まえ、水質問題や安全対策、周辺環境 への配慮について都の見解を伺います。



港湾

港湾

噴水の周辺環境への配慮等でございますが、噴水の整備 による周辺環境への影響等につきましては、基本設計の 段階から継続して検討しており、関係機関等々、引き続 き調整を行い、必要な対応を行ってまいります。

本来、公共の場に設置される噴水については、その水質 基準等は国の法令に則って厳しく管理されています。噴 水により発生する飛沫が汚染されていると、周辺環境の 汚染や人体へ病原菌が感染するためです。本事業におい て、噴水管理を行う上での根拠法をお示し下さい。



最後に、噴水の管理を行う上での根拠法についてでご ざいます。お台場海浜公園に整備する噴水は、船舶交 通の安全等を図ることを目的とする方を港則法や、東 京都会場公園条例等に基づきまして、適切に管理運営 してまいります。

<再質問>

お台場海浜公園の噴水はいつ、誰の要望で発案され たものですか。最終決裁者である小池知事の答弁を 再度求めます。



コロナ禍以降、来訪者数の減少等で地域の活力が低下 1.. 地元の事業者や水域利用者からにぎわいを求める 声があり、来訪者からは楽しめる施設を増やしてほし いなどの声が寄せられております。

(以下、1問目の回答と同文)

無痛分娩費用助成について

東京都の少子化対策 2025 において無痛分娩の費用助成 が盛り込まれましたが、医療従事者や都民からは本事業 が少子化対策の一環として実施されることを疑問視する 声が多数寄せられています。多様な価値観や考え方を尊 重しながら施策を展開しているとのことですが、麻酔薬 を使わない自然分娩を望む妊婦がいるにも関わらず無痛 分娩に限定した補助をするのはなぜでしょうか。



都は、来年度、希望する方が安心して無痛分娩を選択で きるよう、費用助成を開始することとしております。無 痛分娩では硬膜外鎮痛法が一般的に行われており、この 方法を用いた無痛分娩を費用助成の対象とすることとし ました。

無痛分娩のみに対して助成を行う事により、日本の周産 期医療体制や、地方の産科診療所に対して様々な影響が 生じることが推察されますが、都はどの様に捉えている でしょうか。想定される影響について、近隣県や政府、 各地医師会と丁寧に確認調整されているのか確認します。



都は無痛分娩の現状などにつきまして、医療機関への実 態調査や医療関係者、関係団体などとの意見交換を実施 しており、これらも踏まえ制度設計を行っております。

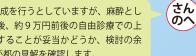
東京都内でも、無痛分娩の実施に伴い、羊水塞栓、子宮 破裂等の負傷・疾病や後遺障害・死亡が報告されています。 こうした有害事象が生じた際の、都としての対応をお示





都は希望する方が安心して無痛分娩を選択できるよう、 無痛分娩の費用助成の対象医療機関について、原則とし て、国が作成した無痛分娩の安全管理対策などに関する 自主点検表の全項目を満たすことを要件といたします。 なお、都は、これまでも医療機関において、分娩時にお ける死亡事例等が発生した場合には、医療法に基づき立 ち入り検査を行うなど、適切に対応しております。

都は上限 10 万円の助成を行うとしていますが、麻酔とし ての部分は1万円前後、約9万円前後の自由診療での上 乗せ部分にまで補助することが妥当かどうか、検討の余 地があると考えますが都の見解を確認します。





都内の無痛分娩費用は平均約12万円であり、一定の自己負担 を勘案し、助成金額の上限を10万円とすることとしました。

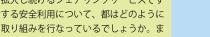
世界では無痛分娩を見直す流れがあり、都の取り組みは、 国際出産イニシアティブの考え方に逆行しています。国 際出産イニシアティブ 12 項目の5番には「陣痛中に薬を使 わずに安楽に過ごす方法や痛みを和らげるための方法を、 安全な第一選択として提供しましょう。」とあります。 無痛分娩のみを助成することは、都として無痛分娩を推奨 することにならないでしょうか。



無痛分娩は、子どもを産み育てたいと望む方が、安心し て出産するための選択肢の一つでございます。

電動キックボード及び モペットの安全対策について

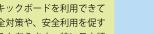
2023 年 7 月に改正道路交通法が施行されて以降、電動 キックボードが第一当事者となる事故件数が都内で増加 傾向にあり、重大事故の発生は時間の問題です。事故件 数の増加と共に拡大し続けるシェアリングサービスです が、利用者に対する安全利用について、都はどのように 事業者と連携し取り組みを行なっているでしょうか。ま た、「都民の声」を通じて都に寄せられる電動キックボー ドに関する意見などを事業者にも伝えるべきと考えます が、現状を伺います。





シェアリング事業者と連携した取り組みについてでござ いますが、都は、昨年度、シェアリング事業者等の団体 と電動キックボードの安全利用普及啓発に関する協定を 締結いたしまして、都の交通安全イベントなどに協力を 求めるとともに、都の啓発リーフレットや都民からの声 を共有しております。

独自に調査したところ、昨年1年間で電動キックボード が首都高へ進入した件数は9件もありました。道路交通法 を知らない方であっても電動キックボードを利用できて しまうことから、都として安全対策や、安全利用を促す 為の周知啓発を行う責任があると考えます。特に日本語 を母国語としない利用者や、海外からのインバウンドに 対する周知について、都の取り組みを伺います。





インバウンドに対する周知の取り組みについてでござい ますが、都は電動キックボードを含む特定小型原動機付 自転車の安全利用を促進するため、都が作成をいたしま した。啓発リーフレットの英語版をウェブサイトで広く 周知いたしております。

電動キックボードは現行のルールでは、時速6km以下で あれば歩道への乗り入れが可能となっています。自転車 同様、歩行者を接触事故から守るためにも、自転車専用 の通行空間の整備が求められます。都道における自転車 通行空間の設置状況について伺います。



さんのへ

建設

都は自転車通行空間整備推進計画に基づきまして整備を 進めており、令和五年度末までに累計 404km が完成して おります。

電動キックボードと同様、販売店を通さず、個人でも 購入が可能となっているペダル付き原動機付自転車に 対する安全対策も求められています。販売事業者に対 し、保安基準への適合性等について審査を受ける型式 認定制度を促すなどの取り組みが必要と考えます。安 全性が確保されていない車両に乗る事は、本人だけで なく周囲に危険が及ぶと思慮しますが、都としての現 状の取り組みはいかがでしょうか。



都は道路運送車両法の保安基準に適合した車両であるこ とを示す性能と確認済みシールを啓発リーフレット等に 掲載し、利用者に確認を呼びかけております。



今回の一般質問は、9分間という限られた時間ではありましたが、再質問を 含めて合計14の質問を投げかける事ができました。また、令和7年第1回定例会

・般質問で登壇した議員は32名、そのうちお台場噴水事業について質疑したのは私を含めて3名、無痛分娩は2名、 電動キックボード及びモペットについては私のみでした。

更に、前代未聞の首長による答弁拒否 (しかも 2 回目!) という恥ずかしい都の醜態を多くの方が再度注目する 事態となり、一般質問後には私の元には都民のみならず全国民の憤りの声が寄せられました。特にお台場噴水 事業に関する質疑は新聞やネット上のメディアでも多数取り上げられ、現時点でも大きな反響を頂いています。

一般質問では解決していない東京都の矛盾点については、3 月 12 日から 3 日間かけて行われ る予算審査特別委員会の場や、厚生委員会などの予算審査の場において調査の上追及してい く所存です。東京都議会に民主主義を取り戻し、都政のブラックボックスを打破する為にも、 都民の皆様と共に活動を続けて参りますので、引き続き都政への関心をお寄せ頂きますよう 宜しくお願いいたします。



都政へのご意見・ご要望は下記へお寄せ下さい

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都議会議事堂5階 自由を守る会 080-8851-3070 **E-mail**: info@sannohe-aya.com

